



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.753 2025.5.21

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

物価高騰と猛暑から

区民の命と暮らし守れ



せいの恵子前区議（右から2人目）とともに区長に要請する日本共産党北区議員団

日本共産党北区議員団 が山田区長に申し入れ

日本共産党北区議員団は5月21日、山田加奈子区長に、深刻な物価高騰、猛暑から区民の命と暮らしを守る緊急要望を行いました。

米の値段が2倍にもなり、

日本共産党区議団の緊急要求（要旨）

- ① 消費税5%への減税、インボイス中止を国に求めること
- ② 低所得者等への1万円のお米券配付
- ③ 米飯給食の提供を保障し、給食の質を維持する給食費の価格設定
- ④ 私立学校、外国人学校に通う世帯への昼食費支援・補助
- ⑤ 高齢者会食サービス、子ども食堂やフードバンク支援団体への支援拡充
- ⑥ 福祉施設や医療機関への物価高騰支援
- ⑦ 区内中小事業所への光熱水費等の補助
- ⑧ 銭湯への燃料費補助引き上げ、高齢者ヘルシー入浴補助券の枚数を増やすこと
- ⑨ 生活保護世帯への物価高騰対策支援金、夏季見舞金等支給
- ⑩ 生活保護、低所得者等へのエアコンの購入・設置・修理費および電気代の助成

食事もままならない状況が世帯が増えていきます。申し入れでは、消費税の廃止をめざし、当面5%に減税、インボイス廃止を国に求めることをはじめ、低所得者、高齢者、子育て世帯等に1万円のお米券を配付することなど必要な食事確保支援、介護・障がい・保育施設や医療機関等に対する物価高騰支援の再実施など中小企業への支援、生活保護世帯

への物価高騰対策支援金、夏季見舞金等支給など、10項目を要望しました。山田区長は、「区民の暮らしを守ることは区の責任。国や都の施策もよく見ながら、区として必要な対応を検討していききたい」と述べました。

申し入れには、昨年6月まで北区議員団に在籍していた、せいの恵子前区議会議員も同席しました。

（のの山けん）

赤羽駅周辺
地区まちづくり

基本計画説明会を開催

北区は16日と17日に、赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画（案）の住民説明会を開催しました。

区は、事前登録制、参加はどちらか1日のみなどの制約を付しましたが、2日間で100人を大きく超える参加がありました。

区は計画（案）に、当初予定されていた事業手法や赤羽小改築、赤羽公園改修など具体的な内容を盛り込まず「大きな姿」を示すものにとどめたため、質疑応答では参加者から、「分厚い資料だが中身がなく、何がしたいかわからない」、「具体的なことは決まっていないといいながら、タワマンを誘致する市街地再開発を

誘導しようとしているのではないか」、「赤羽小学校や赤羽公園の樹木を切ってしまうようなことをせず、しっかり学校や公園を残してほしい」などの意見が相次ぎました。

基本計画（案）は5月いっぱいパブリックコメントを募集し、この夏に決定される予定です。（のの山けん）



説明会で配付された基本計画(案)

タワマン再開発方針の見直しを

16日、第3回北区住宅対策審議会が開かれ、健康福祉委員会副委員長として参加しました。

審議会では小委員会での「北区住宅マスタープラン」改定の検討状況が報告され、討議に。私は「まちづくりと一体となった良質な住宅の供給」から「防災・減災に資する強靱な都市基盤の整備」へと方針を変更しようという検討案（下表参照）に対し、「これが意味するのは、駅前にタワマンシオンを呼び込む再開発ではないか。タワマン建設は各地でゆきづまっており、方針を抜本的に見直すべき」と意見を述べました。

第3回北区住宅対策審議会で委員から意見が続出

さらに複数の委員から「十条のタワマンには人が入っている形跡があまりない。窓に灯りがともるまちづくりにしてほしい」など、タワマン建設の見直しを求める意見が相次ぎました。

改定案は、9月頃に答申がまとめられる予定です。（のの山けん）

住宅施策の方針	
北区住宅マスタープラン2020（★は重点事業）	小委員会検討案
・長く住み続けられる住宅の供給 ★民間住宅の耐震性・安全性の確保	(継続) ①長く住み続けられる住宅の供給 ②民間住宅の耐震性・安全性の確保
★安全・安心な地域づくり ★まちづくりと一体となった良質な住宅の供給	(変更) ③防災・減災に資する強靱な都市基盤の整備 ④地域防犯、交通安全など安全・安心の地域づくり